

おそきの学校と地域を考える会

平成29年度青梅市市民提協働事業

おそきの未来の 青写真を創る事業 報告

平成30年5月25日



おそきの学校と地域を考える会

事業報告書

事業名 おそきの未来の青写真を創る事業



おそき DE プチ田舎暮らし 田植え体験 6月18日(日)

農林課との協働

おそきの
学校と地域を
考える会

おそきの学校と地域を考える会



参加者もスタッフも年齢幅広く



終了後にみんなで記念写真



地元食材中心手作りカレーライスの昼食付 地域紹介、精米までの展示 & 瓶突き精米体験



読売新聞多摩版などへ掲載され地域 PR



おそきの学校と地域を考える会



8月6日 田んぼの手入れ体験



草の見分け方と取り方の指導



みんなで草取りなど田んぼの手入れを体験

おそきの
学校と地域を
考える会

おそきの学校と地域を考える会

10月15日 稲刈り体験



雨の為、参加者は大幅減少



始める頃には小雨に



小雨になり、小さい子も楽しめました



終了後は、自治会館にて地産品中心の昼食

11月23日 おそきDE恋活プロジェクト2017in花木園 企画政策課



スタート・自己紹介



ピザ生地作り



ピザトッピング



火起こし



バーベキュー



ローラーすべり台



おそきの学校と地域を考える会

3) 交通の不便さへの対応策の検討 ⇒ まちづくり推進課

- ①協議を3回行い、地域住民も参加できる形で講演会・ワークショップを実施し、現状の理解を今後の対応策の検討を行うこととした。
- ②「青梅市の公共交通（バス等）の現状と各地での取り組みについてのワークショップ」を実施。

日程：平成30年1月23日（火）19:00～20:20

場所：小曾木市民センター会議室

参加者募集方法：地域回覧、おそき一斉メール、考える会会員連絡

参加者

説明者：青梅市まちづくり推進課 鈴木主査、池田、コンサルタント2名

出席者：約15名（おそきの学校と地域を考える会会員、第6支会正副会長、中学校長、小曾木市民センター職員、地域回覧による参加者3名）

- ・公共交通の現状と各地での対応について（19:10～19:40）
青梅市の状況について（鈴木主査）
資料：青梅市公共交通基本計画（概要）
- ・全国各地での取り組み例や小曾木地区への提言
（コンサルタント：ライテック）
資料：公共交通の現状と今後の課題
- ・考える会からの提案、質問（19:40～19:50）
- ・一般の方からの提案、質問（19:50～20:20）

4) 小曾木地区の小中学校のあり方の検討 ⇒ 担当課 教育総務課

(学校児童生徒数減少への対応が急務)

①事前協議を経て、教育総務課と考える会にて協議する場を2回設定。

②第1回協議 11月24日(金) 9:00~10:30

場所：市役所会議室

参加者：青梅市教育総務課 浜中課長、学務係 篠田係長

考える会 柳内会長、横手会計、若林事務局長

内容：考える会は小曾木地区の小中学校の児童・生徒数の減少を危惧して設立された。設立当初は学校について考えていたが、地域について考えないと打開策がないので、学校と地域について考えることに幅を広げた。しかしながら児童・生徒数の減少は激しく、今年七小へ入学した児童は9名と1ケタまで減少してしまった。地域としては一刻も早く対策を打ちたい。

③第2回協議 2月20日(火) 11:00~12:00

場所：市役所会議室

参加者：青梅市教育総務課 浜中課長、学務係 篠田係長

考える会 柳内会長、横手会計、若林事務局長

内容：考える会が作成した「小曾木地区の未来の青写真(小中学校関連部分)」を提示し、1年後~5年後、5年後~10年後、10年後~20年後についての意見交換。

5) 空家活用推進事業 ⇒ 担当課 住宅課

- ①事前協議を経て、事業の目標である空家の持ち主との面会10件へ向けて該当空家の抽出を行い、13件を抽出した。
- ②第1回協議 11月24日(金) 11:00~12:00
場所：市役所会議室
参加者：青梅市住宅課 清水課長、田島住宅政策係長
考える会 柳内会長、横手会計、若林事務局長
内容：空家の持ち主との面会し個別の状況を確認したい。13軒ピックアップしたので、青梅市と協働で所有者へ空家を求めている現状説明へつなげるため資料の郵送などを行っていただき、意思確認をしたい。
⇒所有者情報を住宅課が担当部署へ請求する根拠としにくいレベル。
資料の郵送は難しい。
郵送は難しいため、住宅課と考える会の協働での訪問とすることとなった。
- ③空家訪問 1月11日(木) 9:00~12:00
場所：小曾木地区各所
参加者：青梅市住宅課 田島住宅政策係長
考える会 若林事務局長



青梅市住宅課と考える会にて空家と思われる13軒訪問。
内容：今後の意向をお伺いする文書、返信用封筒、訪問趣旨、青梅市空家バンク紹介、田島係長の名刺の5点を入れた封筒を準備。
訪問し状況確認。近所に人が居れば状況のお話を伺う。
郵便受けが使われているようであれば封筒を入れる。
結果：空家に見えるが居住されていたお宅⇒1軒（ご近所からの話）
空家だったが入居済みのお宅⇒1軒（表札名の変更状況より）
封筒を投函したお宅⇒9軒
投函不能のお宅⇒2軒（ポストなし、閉鍵）
「ご意向伺いへの返信・問い合わせ」への返信が2通あり。



おそきの学校と地域を考える会

6) 楽しめる、安心でき幸せを実感できる自治会活動の推進への協力

⇒ 市民活動推進課（小曾木市民センター）

- ①小曾木地区の自治会へ自治会館の利用方法について、自治会運営の工夫などについてのアンケートを実施（2月9日）
- ②転居者などに向けての自治会加入促進としての各自治会の特徴を写真などで明記したポスター例を作成し、無料作成を各自治会へ打診した（2月9日）

内容：小曾木市民センターを通じて小曾木地区の自治会へアンケートをお願いして回収、内容のまとめを実施した。

+



小曾木地区自治会館利用規定等についての確認結果

自治会名	会館の有無	利用規約	利用料金	免除規定	主な利用団体	利用方法の工夫
富岡1丁目	あり	なし	なし	なし	テレビ共同受信施設組合、子ども会 富岡愛宕会、稲荷神社奉賛会 富岡1丁目自治会、体育委員会	なし
富岡2丁目	あり	あり	1回2千円	地区内公共団体	富岡愛宕会 三峰講	なし
小曾木1丁目	あり	あり	1回1千円	自治会団体会員 高砂会	自治会団体役員・会員 高砂会、子ども会 小曾木1丁目旅行会（有料）	会館のリフォーム 工事 （水替工事等）
小曾木2丁目	あり	なし	なし	老人会、消防団	なし	なし
小曾木4丁目	あり	あり	1回3千円～5千円	自治会役員が業務使用等	自治会、高齢者クラブ、ソフトボール部 インディアカ部、子ども会、消防団 自治会内団体	なし
小曾木5丁目	あり	なし	なし	自治会員が対象となっ ている団体	御岳神社、石倉院（寺） 万作保存会、老人会	なし
黒沢1丁目-1	あり	あり	1日5千円 半日3千円	自治会付随団体が主催	囲碁の会、スポーツ会 小学校役員会	なし
黒沢1丁目-2	あり	あり	昼間1時間1千円 夜間1時間1,500円	自治会内部団体	黒沢寿会 フラダンス愛好家	なし
黒沢2丁目-1	あり	あり	1日8千円	自治会内の諸団体の使用	消防団、まとい会、安協、選挙等	なし
黒沢2丁目-2	あり	あり	1階4千円 2階6千円	地区内公共団体	自治会、親睦会、あじさい会 黒沢薬師様、婦人部、黒沢寿会、黒沢大 祭関係、ビーチボール部、老人会等	会館の利用料金につ いては、今後、協議す る
黒沢3丁目-1	あり	あり	昼間のみ4千円 夜のみ3千円 朝から夜まで5千円	自治会に付随する団体	当自治会、黒沢大祭 体育委員	高齢者のお茶飲会
黒沢3丁目-2	あり	あり	昼間3千円 夜間3,500円 営業目的1万円	自治会主催、共催 自治会付随団体が主催	自治会以外なし	なし

平成30年3月31日

小曾木地区自治会の会員増加または減少させない工夫について

自治会名	工夫
富岡1丁目	なし
富岡2丁目	新年会、自治会親睦旅行、暑気払いの実施
小曾木1丁目	回覧物の徹底等、声掛け、行事の参加等
小曾木2丁目	なし
小曾木4丁目	なし
小曾木5丁目	会員を対象としたバーベキュー大会、新年会（無料） 役員負担を軽減（役員をしたくないため脱退するものがあるため）
黒沢1丁目-1	高齢者の隣組長免除
黒沢1丁目-2	特になし
黒沢2丁目-1	高齢者の隣組長免除
黒沢2丁目-2	現在は高齢者が多く、免除すると役員選出が困難になる。 現在は組合費の減額に努めている。
黒沢3丁目-1	声掛け 黒沢3丁目には吉崎商店があり、米、酒、お菓子、灯油、日用品を販売しています。吉崎商店がなくなると困ります。地元の商店を使っていたら幸いです。
黒沢3丁目-2	役務の免除



作成例

小曾木3丁目へ転居された皆様へ

小曾木3丁目自治会

小曾木3丁目自治会 紹介

小曾木3丁目へようこそ！
自然に恵まれ、学校や市民センターにも近く、人付き合いの温かい小曾木3丁目には自治会があり、共助の気持ちを持って様々な活動を進めています。ここでは、その活動をご紹介します。自治会員として一緒に活動いただく仲間となっていたきたい気持ちをお伝えします。

小曾木3丁目で行われている主な行事



第6支会（富岡・小曾木・黒沢地区の自治会連合会）で行われている主な行事



地域ボランティア団体により行われている主な行事



小曾木3丁目自治会の主な規約、活動

- ・自治会費は年間6千円。毎年4月に総会があり、2年ごとに役員を改選しています。
- ・自治会員になると、お近くの隣組に入ることができます。
- ・日頃の自治会を通じたご近所付き合いが、災害時の助け合いにつながります。
- ・地域行事、サークルなどの自主活動、高齢者クラブなどへの参加にもつながります。

平成29年度 青城市市民連携協働事業「おそきの未来の青写真を創る事業」

おそきの学校と地域を考える会

<p>小曾木地区の現在の姿</p> <p>地域を取り巻く環境</p> <p>①青梅市立第七小学校に入学した児童数が9名まで減少 ・右グラフの15～40歳人口の減少が児童数減少に比例</p> <p>②小曾木地区の空家数が71軒(H24青梅市外観調査)まで増加</p> <p>③住民の「住みやすさ」の評価が低い (H28小曾木地区一斉アンケートより) ・交通の不便さ、買物の不便さの意見が多数</p> <p>④30～40代の「住みやすさ」の評価は低くない ・10～20代と50代で「住みやすさ」の低さが顕著</p>	<p>資料提供(人口)：中野地区(人口)</p>	<p>小曾木地区の将来のあるべき姿</p> <p>住むことに幸せを感じられる地域となる(継続的にアンケートを実施し意識の変化を確認する)</p> <p>①青梅市立第七小学校・第六中学校に入学する児童・生徒数が20名程度まで増加 ・短期的には学校システムによる改善、長期的には対象人口増加策により改善</p> <p>②小曾木地区の空家の状況を把握し、危険空家とならずに活用される状況を作る</p> <p>③住民の「住みやすさ」の評価を向上する ・高齢者が感じている不便さの解消は生活のしやすさに直結⇒要改善</p> <p>④人間らしさを実感できる、自然体験型の子育て・生活の良さを積極PRし、小曾木地区での生活の充実感を高める</p>
--	--------------------------	---

項目	大日程	1年後～5年後	5年後～10年後	10年後～20年後
小曾木地区への通学希望者の受け入れ		七小・六中への通学希望者の早急な受け入れ開始 ①個別事業での対応処理開始 ②七小・六中の早期特認校化	←	←
特色ある学校作り		小中連携の強化 ①学力向上への連携した取り組み ※希望者多数の場合抽選 ②特色ある学校へ向けた教員配置 ・小中一貫校教員配置 ・特色あるクラブ活動教員配置等 PR ③1クラス20名の少人数クラス PR ④地域の特色・地域力による教育環境の向上 PR	七小・六中が同一校舎で教育を行う小中一貫校化の検討 ①学力向上への連携した取り組み ※希望者多数の場合、地域外からの入学者には入学試験実施化へ ②特色ある学校へ向けた教員配置 ③1クラス20名の少人数クラス PR ④地域の特色・地域力による教育環境の向上 PR	七小・六中・小曾木市民センターが同一建物で運用される地域拠点化の検討(建物規模縮小させ機能充実化) ①地域の学校としての地域の特色・地域力による教育環境の向上 ②市民センターの地域NPO運営化も同時に検討
通学方法の確保		通学バスの成木小・七中との共用化 (または既存バス路線乗りバス)	おそき保育園・成木保育園の園児送迎バスとの共用化の検討	おそき保育園・成木保育園の園児送迎バスとの共用化、地域の高齢者が買物に出るためのバスとの共用化の検討
公共交通の利便性向上		小曾木地区(診療所バス停基準)運行本数31本/日の有効活用 ①小曾木路線へ約2900万円/年の公共負担を軽減したバスのニュースレター(バス経営状況、利用状況、危機感の共有など)を発行による利用促進、危機意識醸成PR活動の実施 ②バス事業者とのバス運行時刻協議によるバス時刻重複防止	バス路線維持へ向けた積極的取り組み ①バス乗車キャンペーン、乗車調査会などイベント実現化 バス路線自主運用へ向けた取り組み ①自治会、NPOなどによる自主運行の研究 ②特色ある自主運行研究による地域PR PR (例:自動運転による東青池駅～しょうぶ公園～岩蔵～花木園運行)	バス路線維持が不可能な場合には、自主運用の実施 ①自治会、NPOなどによる自主運行 ②小中学校への通学、保育園への通園との共用化
空家の積極利用推進		地域の空家の積極利用を推進していることをPR PR ①おそきより、広報おそき、ホームページなどを利用し全学的活動	空家所有の将来リスクの積極展開による利用推進 ①不動産価値の低下懸念・処分できない懸念の理解 豊かな自然を活用した講座・イベントなどの開催 ①昆虫採集、バードウォッチングなど体験講座開催 PR	青梅市、NPOなどによる地域の空家積極活用による人口減少対策の推進
自然・農地の豊かさの積極利用		田舎暮らし体験の継続(擬似・バーチャル⇒現実・リアル)の強化 ①稲作、農作物など雑作から収穫まで体験し高い人間味獲得 PR	考える会ホームページ・フェイスブックによる地域活動充実状況の他地域へのPR PR	人間らしさを実感できる自然派生活の積極PR PR
地域の積極PR PR		子どもの居場所作り推進(だがしやこころの発展形) PR ・社会福祉法人との連携による地域福祉向上策検討 考える会ホームページ・フェイスブックによる地域活動充実状況の他地域へのPR PR	考える会ホームページ・フェイスブックによる地域活動充実状況の他地域へのPR PR	考える会ホームページ・フェイスブックによる地域活動充実状況の他地域へのPR PR

第6支会(地域自治会)または「おそきの学校と地域を考える会」が取り組むべき方向性

<p>第6支会とおそきの学校と地域を考える会の連携強化</p>	<p>青梅市、第6支会、考える会の3者による協働事業の実施 ①東京都「地域の魅力発展事業」による助成金の活用 ・第6支会が実施したい事業を考える会が実現する ②自治会館の有効活用の推進(買物不便さ解消&交流) ・地域ボランティアによる自治会館利用による高齢者福祉の向上</p>	<p>青梅市、第6支会、考える会の3者による協働事業の継続 ①地域に必要な事業の協働実施 ②小曾木市民センターの運営方法の検討開始</p>	<p>NPO組織化しての地域運営 ①小曾木市民センターの地域NPO運営化 ・市民と市行政の協働による地域運営による経費削減 ・必要な事業の自主運営による実施(地域ボランティア活用) ・学校と地域の連携強化⇒学校だけではできない事項の解決</p>
---------------------------------	--	---	--



ご協力ありがとうございました。 今年もすでに活動を進めています！

5月12日 小曾木っ子まつり

6月10日 田植え体験募集中



おそきの
学校と地域を
考える会

2018 OME city
おそき DE プチ田舎暮らし
～田植え・手入れ・収穫体験～
おそきの
学校と地域を
考える会

東京都にもたんぼがあった
自然がたっぷり田舎暮らしを
体験してみませんか

第1回 田植え体験 6月10日(日) 午前10時～午後1時(雨天決行)

会場：青梅市富岡1丁目336番地付近(乙黒耕地)
対象：定員50家族 ※市外からの参加も歓迎です。
参加費：1人500円(3歳以下は無料)
申し込み方法：メールまたは往復ハガキにて6月5日(火)まで先着順受付
(詳細は裏面参照)

第2回 8月予定 田んぼの手入れ体験
第3回 10月予定 稲刈り体験

主催：おそきの学校と地域を考える会
協力：小曾木っ子の会、おやじの会、(特)子どもと文化のNPO 子ども劇場西多摩風の子サークル

おそきの学校と地域を考える会